

岩崎式日本語

言語変遷過程表	岩崎式日本語の格標識	名詞・動詞の変遷	検証実験との対応	道具、影響、希求、能力、意志、行為、有生物、主格	身体、影響、希求、能力、意志、行為、有生物、主格	身体、非影響、非希求、能力、意志、行為、有生物、主格	身体、非影響、非希求、能力、意志、行為、有生物、主格	身体、非影響、非希求、能力、意志、行為、有生物、主格	身体、非影響、非希求、能力、意志、行為、有生物、主格	身体、非影響、非希求、能力、意志、行為、有生物、主格	身体、非影響、非希求、能力、意志、行為、有生物、主格	身体、非影響、非希求、能力、意志、行為、有生物、主格	身体、非影響、非希求、能力、意志、行為、有生物、主格	身体、非影響、非希求、能力、意志、行為、有生物、主格	2012年現在の年齢の平均	被験者となった重度解離性障害者・発達障害者・言語障害者などの	一般日本人女性の到達年齢	一般日本人男性の到達年齢	人類の世界認識の変遷	現在の印欧語文法から予測される、それら印欧語が到達した時代	日本語が到達した時代	特徴	⇒	時の流れ	⇒
				個人においてこの表の下へと移行する速さが、時代を下った一般の男女ほど、速い。紫色付きは、一般定型発達者において物心付くと記憶が意識から消えるとされる時期。▼は、それより過去の時期について、体験としては遡及できず、言語と思考によってのみ言及可能であることを示す。▲は、それより後の時期の世界認識と文法に移行せず、それ以前の時期の世界認識を維持することを示す。	2012年現在、基本的な文法がとどまっている段階にその言語名を記した。むろん、それぞれの言語話者の文化的事情や会話内容によって、2・3段階ほどのズレが生じる。●は死語。	●優勢な要素、語順																			
A 前言語	人間＝自然である。自我と他我の区別も存在しない。														24	胎児期～0歳半	胎児期～0歳半	●重度自閉症者の世界認識	250万年前～20万年前：旧石器時代 ●ホモ・ハビリスやホモ・エレクトス				即然	即然	即然

岩崎式日本語

A C 空格言語	B 擬音・擬態言語	擬音・擬態語	(擬1~9)	ト、セツセセツセ	ト、バタン	ハナ、ホンワカ	ハナ、チラツ	ウエーン	ズテツ、ドタツ	ヨイシヨ、ユツタリ	ト、バタン	シクシク	2 3	~ 1歳半	~ 1歳半	<p>●重度自閉症者の世界認識 (各言語ごとに音韻組織 (清音と濁音など) が整い始め、喃語 (アーなど)、初語 (ママ、ブーブーなど) を発し始める時期。)</p>	<p>20万年前~B.C. 10000 : 旧石器時代</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ホモ・ネアンデルターレンシスの簡単な言語</li> <li>●およそ2万年前、ホモ・サピエンス・サピエンス以外のヒト属が絶滅</li> <li>●家族単位・集団単位・部族単位で言語が異なるか</li> </ul>	<p>オーストロネシア語の疊語。シュメール語の複数。日本語「人々」など。</p>	遠方	近方	遠方
	C 空格言語	名詞と動詞の区別なし (原動詞)	(空1~9)	私、扉、作ること。	私、扉、閉めること。	私、花、好むこと。	私、花、見ること。	私、泣くこと。	私、転ぶこと。	私、座っていること。	家、建つこと。	時間、残ること。	2 1	~ 1歳10か月	~ 2歳 (女兒は若干遅れる)	<p>●重度自閉症者や重度統合失調症者の世界認識 (幼児の語彙が300~400語ほどとなる時期。)</p>	<p>B.C. 10000~</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●これ以降、印欧語はB.C. 4000までに一気に主格言語に達する。</li> <li>●農耕広まり、一つの言語が拡散し、現在の語族ができる。</li> </ul>	<p>縄文時代語</p> <p>●主題優勢、自由、相対時制 現在を生きることに焦点 時空の区別なし</p>	遠方	近方	遠方
	D 識格言語	識動詞 名詞	(識1~9)	私(絶)扉(絶)作る。	私(絶)扉(絶)閉める。	私(絶)花(絶)好む。	私(絶)花(絶)見る。	私(絶)泣く。	私(絶)転ぶ。	私(絶)座っている。	家(絶)建つ。	時間(絶)残る。	2 3	~ 2歳	~ 2歳2か月	<p>▼言語生活に支障がない女性の遡及の限界域</p>	<p>○中国語</p> <p>○ニヴフ語</p> <p>○アイヌ語</p> <p>○ハンティ語 ヴェアフ河方言</p> <p>○ルシャン語</p> <p>○オーストロネシア語族 (タガログ語などのフィリピン型格配列)</p>	<p>弥生時代語</p> <p>●主題優勢、自由、相対時制 現在を生きることに焦点 時空の区別なし 現在の自動詞の主体、他動詞の主体と被動者が全て異なる格をとるか、全て格が付かない。</p>	遠方	近方	遠方

岩崎式日本語

E 具格言語	具主体名詞 具動詞	非具主体名詞 非具動詞	(具1~9)	私(具) 扉(絶) 作る。	私(絶) 扉(絶) 閉める。	私(絶) 花(絶) 好む。	私(絶) 花(絶) 見る。	私(絶) 泣く。	私(絶) 転ぶ。	私(絶) 座っている。	家(絶) 建つ。	時間(絶) 残る。	2 1	~ 2歳2か月	~ 2歳4か月	<p>▲言語・社会生活に支障のある重度解離性障害・統合失調症者女性がとどまっている段階</p>	○オビ・ウゴル諸語 (ハンティ語、マンシ語など)	弥生・古墳時代和語	●主題優勢、自由、相対時制 道具生活の発達により、事態の実現度・達成度で時空をとらえる。	非現実	現実	非現実
F 及格言語	他及体名詞 及動詞	自及体名詞 非及動詞	(及1~9)	私(及) 扉(絶) 作る。	私(及) 扉(絶) 閉める。	私(絶) 花(絶) 好む。	私(絶) 花(絶) 見る。	私(絶) 泣く。	私(絶) 転ぶ。	私(絶) 座っている。	家(絶) 建つ。	時間(絶) 残る。	2 2	~ 2歳4か月	~ 2歳半	<p>▼言語生活に支障がない発達障害者男性の遡及の限界域</p>	○モルドビン語、チェレミス語、ジリヤン語など ○ドラヴィダ語族 (タミル語など) ○チベット語 ○ポリネシア諸語 ○バスク語	奈良日本語	●主題優勢、自由 他者や物体への自己の影響度が高まる。そうでない行為や状態に関する「自発」の概念が生じる。ただし、影響を与えるのは、必要な行為や状態に限られ、利害関係がなく、能動態と受動態がない。 ハンガリー語受動態なし ウラル語は文法格よりも場所格中心 ウラル語の対象活用	非現実	現実	非現実

岩崎式日本語

G 希格言語	希求体名詞 希動詞	非希求体名詞 非希動詞	(希1〜9)	私(希) 扉(絶) 作る。	私(希) 扉(絶) 閉める。	私(希) 花(絶) 好む。	私(絶) 花(絶) 見る。	私(絶) 泣く。	私(絶) 転ぶ。	私(絶) 座っている。	家(絶) 建つ。	時間(絶) 残る。	2 3	〜 2歳半	〜 2歳9か月	<p>▲言語・社会生活に支障のある発達障害者男性がとどまっている段階</p>	<p>●フルリ・ウラルトゥ語族 B. C. 2300〜B. C. 1000 : ●フルリ語 B. C. 9c〜B. C. 6c : ●ウラルトゥ語 ○バントゥー諸語 (スワヒリ語など)</p>	平安日本語	<p>●主題優勢、自由希求したことの実現度が高まる。「過ぎたこと」と「未だ達せざること」との区別始まる。他者との利益関係が重視され、間接能動態 (利益能動態・中動態)、間接受動態 (被害受動態、持主受動態「やりもらいくれ」) など発達。使役態。 ウラル語族の知覚動詞と判断動詞の区別 モルドビン語の希求法、願望法 トルコ語の使役 ギリシア語の中動態 ソングース語では使役と受身が同形。</p>	已然	現実	未然
--------	--------------	----------------	--------	---------------	----------------	---------------	---------------	----------	----------	-------------	----------	-----------	--------	----------	------------	--	--	-------	--	----	----	----

岩崎式日本語

H 能格言語	能動体名詞 能動詞	非能動体名詞 非能動詞	(能1~9)	私(能) 扉(絶) 作る。	私(能) 扉(絶) 閉める。	私(能) 花(絶) 好む。	私(能) 花(絶) 見る。	私(絶) 泣く。	私(絶) 転ぶ。	私(絶) 座っている。	家(絶) 建つ。	時間(絶) 残る。	2 4	~2歳 10か月	~3歳	●多くの解離性障害者女性が維持している段階	○マヤ語族 ○オーストラリア原住民諸語 (ジルバル語、ワルング語など) ○パプア諸語 (アメル語など) ○エスキモー・アレウト語族 (イヌイト語、ユピック語など) ●シュメール語	中世日本語	●主題優勢、自由 「できること」と「できないこと」とが意識され始め、自発から可能が生じる。逆受動態が発達。オーストロネシア語族には時制がない。焦点。シュメール語は能格を持つ。	已然	現実	未然
I 意格言語	意志体名詞 意志動詞	無意志体名詞 無意志動詞	(意1~9)	私(意) 扉(絶) 作る。	私(意) 扉(絶) 閉める。	私(意) 花(絶) 好む。	私(意) 花(絶) 見る。	私(意) 泣く。	私(絶) 転ぶ。	私(絶) 座っている。	扉(絶) 閉じる。	時間(絶) 残る。	2 6	~3歳 2か月	~3歳半	●多くの解離性障害者女性が維持している段階	○カルトヴェリ諸語 (グルジア語など)、 ○アブハズ・アディゲ諸語 ○ナフ・ダケスタン諸語 (タバサラン語など) ○ハイダ語 ○ナ・デネ語族 (ナヴァホ語、トリンギット語、●イヤック語：2008/1月絶滅)	近世日本語	他者に影響を与えずに自己の身体のみで行うことが、自己の意志により感じられるようになり、意志と推量が分離する。日本語「ム」ウラル語の蓋然性	完了	現在	未完了

岩崎式日本語

J 活格言語	活動体名詞 活動詞	不活動体名詞 非活動詞	(活1~9)	私(活) 扉(不活) 作る。	私(活) 扉(不活) 閉める。	私(活) 花(不活) 好む。	私(活) 花(不活) 見る。	私(活) 泣く。	私(活) 転ぶ。	私(不活) 座っている。	家(不活) 建つ。	時間(不活) 残る。	27	3歳10か月	4歳	▲欧米文明の浸食を受けていない民族が維持している時期(ここまでは文法を変化させても、それ以上進まない。)	○マスコギ語族(マスコギ語など) ○スー語族(チェロキー語、ダコタ語など) ○トゥピ語族(トゥピ語、グアラニー語など) ○イロクォイ諸語(モホーク語など)	明治日本語	交互態 アルタイ語では共同と交互に区別なし。 漢字熟語の自他	完了	現在	未完了
K 主格言語一	有生名詞 自・他動詞	無生名詞 自動詞	(主1~9)	私(主) 扉(対) 作る。	私(主) 扉(対) 閉める。	私(主) 花(対) 好む。	私(主) 花(対) 見る。	私(主) 泣く。	私(主) 転ぶ。	私(主) 座っている。	家(対) 建つ。	時間(対) 残る。	26	5歳	5歳	▼解離感を失った現代日本人の遡及の限界域 ▼現在の欧米の軽度解離性障害者の遡及の限界域	●印欧祖語、青銅器時代あたりには主格言語に到達か  ○テュルク諸語 ○ツングース諸語 ○モンゴル諸語 ○朝鮮語	戦前日本語	▼証拠性と蓋然性の分離 尊敬態 西日本方言と朝鮮語の完了と進行 騎馬民族の侮辱表現	過去⇒、完了と進行、事実と反事実	現在⇒、完了と進行、事実と反事実	未来⇒、完了と進行、事実と反事実

岩崎式日本語

<p>主格言語二</p> <p>有生物・準生物名詞 自・他動詞</p>	<p>非準生物名詞 自動詞</p>	<p>(主二1~9)</p>	<p>私(主) 扉(対) 作る。</p>	<p>私(主) 扉(対) 閉める。</p>	<p>私(主) 花(対) 好む。</p>	<p>私(主) 花(対) 見る。</p>	<p>私(主) 泣く。</p>	<p>私(主) 転ぶ。</p>	<p>私(主) 座っている。</p>	<p>家(主) 建つ。</p>	<p>時間(対) 残る。</p>	<p>30</p>	<p>12歳</p>	<p>12歳</p>	<p>▼ほとんどの現代標準日本語話者の遡及の限界域</p>	<p>○ヴォラピュク (人) ○エスペラント (人) ○その他、多くの印欧語母語話者・共感覚者などによる人工言語 (Mantiなど)  ○バルト・フィン諸語 (フィンランド語、エストニア語など) ○ハンガリー語 ●アッカド語</p>	<p>戦後日本語</p>		<p>過去⇒、完了と進行、事実と反事実</p>	<p>現在⇒、完了と進行、事実と反事実</p>	<p>未来⇒、完了と進行、事実と反事実</p>
---	-----------------------	----------------	----------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	-----------------	-----------------	--------------------	-----------------	------------------	-----------	------------	------------	-------------------------------	--	--------------	--	-------------------------	-------------------------	-------------------------

岩崎式日本語

<p>M 主格言語三</p>	<p>男性名詞と女性名詞 自・他動詞</p>	<p>中性名詞 自・他動詞</p>	<p>(主三 1~9)</p>	<p>(私・主) (扉・対) 作る。</p>	<p>(私・主) (扉・対) 閉める。</p>	<p>(私・主) (花・対) 好む。</p>	<p>(私・主) (花・対) 見る。</p>	<p>(私・主) 泣く。</p>	<p>(私・主) 転ぶ。</p>	<p>(私・主) 座っている。</p>	<p>(家・主) 建つ。</p>	<p>(時間・主) 残る。</p>	<p>3 4</p>	<p>英語の義務的学習を通じて、この時期を急速に通過</p>	<p>英語の義務的学習を通じて、この時期を急速に通過</p>	<p>▼印欧語母語話者の遡及の限界域 ▼印欧語を母語並みに解する日本人の遡及の限界域</p>	<p>●印欧祖語 (B. C. 4000 : グルガン説) ●古英語 (5~11c中) ○ラテン語 ○ギリシャ語 ○サンスクリット ○マラーティー語</p>	<p>戦後日本語</p>		<p>過去⇒、完了と進行、事実と反事実</p>	<p>現在⇒、完了と進行、事実と反事実</p>	<p>未来⇒、完了と進行、事実と反事実</p>
----------------	----------------------------	-----------------------	-----------------	------------------------	-------------------------	------------------------	------------------------	------------------	------------------	---------------------	------------------	-------------------	----------------	--------------------------------	--------------------------------	--	--	--------------	--	-------------------------	-------------------------	-------------------------



岩崎式日本語

N 主格言語四	上記の分類そのままか、あるいは男性名詞と女性名詞、通性名詞と中性名詞に整理・統合 自・他動詞	(主四 1~9)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	3 3	1 3歳 成人	1 3歳 成人	B. C. 2000~B. C. 1000 ●ヒッタイト語 ○スラヴ語派 (ロシア語など) ○多くのゲルマン語派 (ドイツ語、アイスランド語、デンマーク語、スウェーデン語、オランダ語) ○ロマンス諸語 (フランス語、スペイン語、イタリア語など) ○バルト語派 (ラトビア語、リトアニア語など) ウルドゥー語、ヒンディー語、 ○インターリングア (人)  4c : ○アラビア語 ●エジプト語	戦後日本語	時空の分裂、時間の不可逆性が明確に意識され、歴史と進歩の概念生じる。時制、相、法が分離し、分析的になる。能動態と受動態の区別成立。話者を中心とする絶対時制が成立。 ▼時空の遠近についての緊張感	過去⇒、完了と進行、事実と反事実	現在⇒、完了と進行、事実と反事実	未来⇒、完了と進行、事実と反事実
		同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上													
O 主格言語五	名詞分類 (文法性) 消滅 時制・相・法・態の概念の区別、高度分析的な言語 自・他動詞	(主五 1~9)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上				戦後日本語	単純過去が文語、格言などに制限され、現在完了が単純過去に、進行が現在に、意志が未来になる。	過去⇒、完了と進行、事実と反事実	現在⇒、完了と進行、事実と反事実	未来⇒、完了と進行、事実と反事実	
		同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上													

